

(別添7)

事業所名 グループホームこもれびの里

2 目標達成計画

作成日: 令和2年 3月 31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	認知症の症状をお持ちの方は、自分の意思を表达できず、自分らしい生活を送ることが、なかなか困難な状況にある。職員は、生活支援を行いながら、その人その人の思いをくみ取って、ケアにつなげなければならない。	施設は、これまでの3年間の実績をふまえ、1年間を通して、認知症についての研修計画を作成します。認知症についての理解を深めて、当施設の介護をより専門的に、ご利用者様に提供できるようにしたい。	①認知症についての研修計画を作成します。②認知症実践者研修やリーダー研修に参加した職員が講師になって、定期的に研修会を開催します。③事例検討会を開催して、職員同士の意見交換ができる機会をつくり、幅広く柔軟な介護ができるように、取り組みたい。	12ヶ月
2	36	事業所の理念に掲げて、定期的に権利擁護についての研修を行っているが、まれにご利用者様の人権や誇りを損う恐れのある言動がみられている。ご家族様やご本人様が安心して、生活を送ることができる環境を整える必要がある。	職員間に、権利擁護についての意識を定着させるために、定期的な研修会を開催する。	①権利擁護についての研修計画を作成します。②高齢者虐待や権利擁護について、研修計画に沿って研修会を開催します。③事例検討会やグループワークなど、日々のケアの振り返りができる機会をつくりたい。④他施設の見学研修に職員が参加できる機会をつくりたい。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。